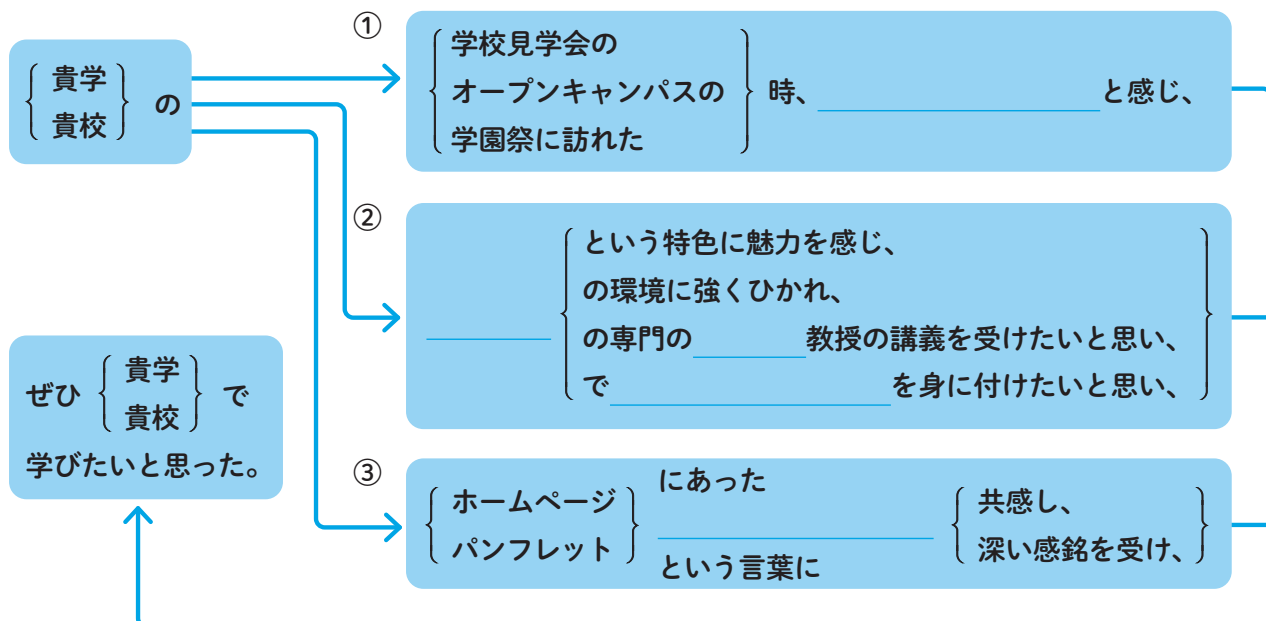


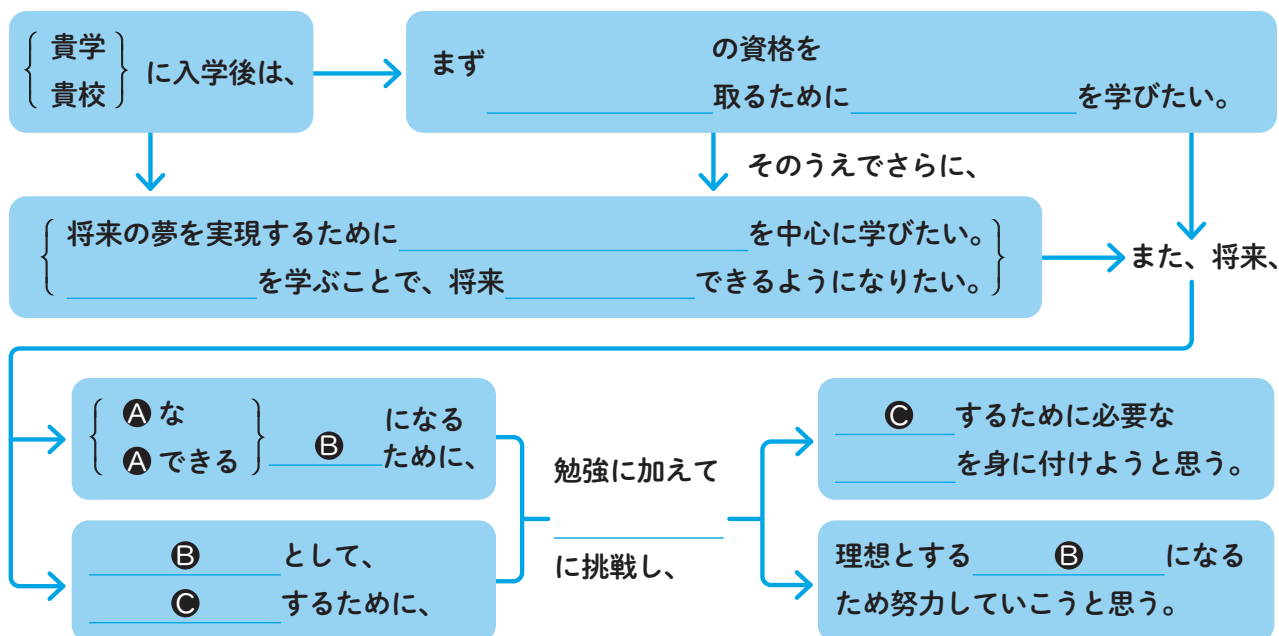
▼資料A、Bとも、自分の考えを文章でまとめる際の参考にしてください。

資料A 3 なぜその学校を選んだのか



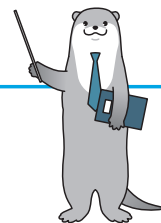
これをヒントに①～③のいずれか1つ、あるいは複数を組み合わせて文章にまとめてみましょう。

資料B 4 その学校で何を学びたいか



これをヒントに、文章にまとめてみましょう。図中のⒶ～Ⓒは「小論文まとめワーク」p.5に書いた内容と同じものが入ります。

「志望理由書」就職用としての利用方法



「小論文まとめワーク」p.3 このワークの使い方／プロフィール

「あなたのプロフィール」の「志望校」「志望学部・学科」の項目を、次のように置き換えてください。

志望校： → 志望する会社：
志望学部・学科： → 志望する業種・職種：

「小論文まとめワーク」p.4 「志望理由書」とは何か？

「志望理由書」作成の流れの 3 と 4 を次のように置き換えてください。

3 「なぜその学校を選んだのか」をまとめよう

→ 「なぜその会社を選んだのか」をまとめよう

4 「その学校で何を学びたいか」を考えよう

→ 「その会社に入社したら自分には何ができるか」を考えよう

「小論文まとめワーク」p.5 1 「将来どのような仕事に就いて何をしたいのか」を考えよう

「夢の宣言」に次の内容を加えてください。

例 私は高校卒業後、〔 〕に入社し、〔 〕
を心掛けながら、〔 〕の仕事をしたい。

「小論文まとめワーク」p.7 3 「なぜその会社を選んだのか」をまとめよう

見出しを上の一と読み換え、ワークの内容を次のように置き換えてください。

その会社を知ったきっかけは？

〔 〕
その会社の特色・特長・業務内容は？

〔 〕
求人票や会社案内、職場見学などで魅力を感じた点、興味を持った点（企業理念など）は？

〔 〕
その会社にあって、他社にない魅力は？

〔 〕
その会社が求める人物像と自分との共通点は？

〔 〕

「小論文まとめワーク」p.8 4 「その会社に入社したら自分には何ができるか」を考えよう

見出しを上の一と読み換え、ワークの内容を次のように置き換えてください。

その仕事に必要な能力や、資格・技術は？（性格面も含む）

〔 〕

自分のどのようなところがその仕事に向いている？（アピールポイントを示す）

〔 〕

入社後の、仕事に対する心構えは？

〔 〕

p.5の「夢の宣言」で書いた理想像に近づくために、取り組んでいることは？

〔 〕

「小論文まとめワーク」p.9 5 「志望理由書」を書いてみよう

ワークの内容を次のように置き換えてください。

1 将来どのような仕事に就いて何をしたいのか

私は、〔 〕に興味があるので、
高校卒業後は〔 〕の仕事をしたいと考えている。

2 なぜその仕事をしたいと思ったのか

その仕事をしたいと思ったきっかけは、〔 〕（時）に、
〔 〕ことだ。
私は、この経験をしたことで、〔 〕と思った。
そして〔 〕な（できる）〔 〕になり、
〔 〕（したい）と思ったのだ。

3 なぜその会社を選んだのか

貴社の { (会社説明会／職場見学) に参加して、 }
{ (会社案内／ホームページ) を拝見して、 }
〔 〕という点に魅力を感じ、ぜひ貴社で働きたいと思った。

4 その会社に入社したら自分には何ができるか

貴社に入社したら、〔 〕に心掛け、
〔 〕したい。
私の〔 〕という（経験／能力／性格）を
活かし、〔 〕に励み、
〔 〕に貢献したい。

以上の理由により、貴社への入社を強く希望する。



図解!

志望理由書を書く時のポイント

あゆむさんの志望理由書

▼将来の夢の宣言

「〇〇な△△になる」「××になって●●する」というように、自分の意見をはっきりと示します。

▼なぜその仕事をしたいと思ったのか

前半は事実の報告、後半はそこから感じたこと、考えたことを書くこととまとめやすくなります。

▼なぜその学校を選んだのか

収集した情報をもとに、なぜ他校ではなくその学校なのかを書きます。

▼その学校で何を学びたいか

将来に結び付く学習内容を書きます。

▼まとめ（決意表明）

私は将来、人々の生活に役立つロボットを作ることができるロボット設計技術者になり、社会に貢献したい。

幼い頃からアニメなどでロボットに興味を持っていたが、その夢を抱いたきっかけは、様々な分野で活躍するロボットを紹介するテレビ番組を観たことだ。人間が容易に入れない水中や危険な場所で作業するロボットや、介護の現場で活躍するロボットなどが紹介されていた。その中で、福祉の現場で活躍するロボットを開発した貴学の〇〇教授が、完成するまでの挫折や、それを克服した時の達成感などについて語られていた。それを見て、大変な苦勞をしながらも世の中のためになるロボットを完成させたことに感服するとともにやりがいを感じ、私もロボット開発に携わり、社会の役に立ちたいと思うようになったのだ。

貴学のホームページから、最先端技術の集合体であるロボット開発のために必要なことを幅広く学べるカリキュラムや、資格の取得の勉強ができる講座があることを知った。また、目指すきっかけとなった〇〇教授の研究室の様子も載っており、私もぜひこの研究室で新しいロボットの開発に取り組みたいと思った。

貴学に入学後は、ロボット工学の専門知識をはじめ、機械設計やコンピュータプログラミングなど、機械、情報技術全般にわたって学び、実践的なスキルを身に付けたい。また、実際にロボットが活躍している分野についても学ぶために、日頃からニュースを視聴し、世の中の動きを知っていくつもりだ。

以上の理由により、貴学への入学を強く志望する。

文末は常体（～だ、～である）、敬体（～です、～ます）のどちらでも構いません。混在しないようにどちらかに統一します。

夢を抱いたきっかけを説明する部分です。この長さを調整することで、制限字数内に収めるようにしましょう。字数が余るようであれば膨らませて書き、字数が不足するようであればより簡潔にまとめます。

パンフレットやホームページなどで調べた情報を盛り込みます。

志望先で学びたいことを述べます。

学校で学べることにプラスして、そのほかに取り組みたいことを書きます。

まとめは簡潔に。定型句で構いません。



志望理由書 学部別答案例 (600字程度)

●保育系

私の夢は、保育士になり、子どもたちが安心して過ごせる保育環境を作ることです。

その夢を抱いたきっかけは、私自身がなかなか保育園になじめなかった頃、担任の保育士の方が優しく受け止めてくれたことです。当時の私は引っ込み思案で、友達の中に自分から入っていくことができませんでした。先生はそんな私に根気よく付き合ってくれ、クラスの仲間たちと打ち解けられる環境を作ってくれました。私は、その先生と出会い、子どもの気持ちをしっかり受け止めることのできる保育士の存在がいかに大事かを学びました。そして、いつか自分自身が子どもの気持ちを理解できる保育士になり、子どもたちがのびのびと遊べる環境を作れるようになりたいと思うようになったのです。

貴学は、実践の中から生きた知識を学ぶことを目指し、1年次から実習に参加するというカリキュラム上の特色があります。昨年のオープンキャンパスでは、スタッフの方に温かく迎え入れていただき、ここならば、私の夢を実現させるための勉強ができると感じました。

貴学に入学後は、児童心理をはじめ、保育士になるための基礎的知識を学ぶとともに、実習や地域の保育園でのアルバイトなどを通じて実践力も身に付けたいと思います。

以上の理由により、貴学への入学を強く志望します。

●経済系

私の夢は、公務員となり、自分のふるさとの町を活性化させることだ。

その夢を抱いたきっかけは、高校2年生の授業の一環で、町の実態調査を行ったことだ。私は、中央商店街の歴史を調査し、過去20年間の人の流れと売上の推移を比較して、その衰退の度合いに非常に驚いた。私の町は典型的な地方都市だが、近年の商業施設の郊外移転により、中央商店街は「シャッター通り」と呼ばれるほど衰退してしまい、通りを歩いているのはお年寄りが多く、若者はほとんどいないという状況がわかった。昔の活気ある商店街の写真を見るにつけ、公務員になって、再びふるさとの町をこのような活気のある町にしたいと思うようになったのである。

昨年、学校見学会に参加した時に、貴学のカリキュラムには充実した「地域政策論」があり、住民参加型の地域づくりの研究に力を入れていると伺った。また、〇〇市と連携して、地域活性化に向けて様々な取り組みを行っていることを知り、実践的な知識を学びたいと思っていた私は、これらの取り組みにぜひ参加し、経験を積みたいと思ったのである。

貴学に入学後は、経済学の基礎を学んだうえで、「コミュニティ構築論」の〇〇教授のゼミに参加して地域政策の実践を学び、町おこしの活動にも参加して生きた知識を身に付けたい。

志望理由書 就職用答案例 (400字程度)

600字程度に内容を膨らませたい時は、**A**のきっかけとなったエピソードや、**B**の魅力を感じた点などを詳しく書こう。

私は以前から「ものづくり」に興味があり、高校卒業後は洋服の縫製の仕事をしたいと考えています。

その仕事をしたいと思ったのは、**A**高校2年生の文化祭の時、手芸部のバザーに私の手作りの小物を出品したところ、それがとても好評で、見事に完売したことがきっかけです。それ以来、作った小物を友人や家族にプレゼントをするようになり、自分の作ったものを喜んで使ってもらえる楽しみに目覚めました。

貴社の会社案内を拝見して、**B**普段着からファッションショーに出展される洋服まで幅広い製品の縫製を行っていることを知り、多くの方に長く愛用される製品づくりに携われることに魅力を感じました。

根気よく作業に臨めるという私の長所を活かして、縫製だけでなくパターンの作成の技術なども身に付け、貴社の一員として戦力となれるように成長したいと思います。



図解!

自己推薦書を書く時のポイント

みらいさんの自己推薦書

▼自分のアピールポイントの宣言

「資質・性格」面を中心に「興味・関心」面を加える形で書きましょう。

▼「資質・性格」面に関するアピールポイント

前半はどうやってその資質を身に付けたのか、後半はそれを今までどのように活用してきたのかを書きます。

▼「興味・関心」面に関するアピールポイント

ここも「資質・性格」面と同様に、いかに身に付けたのか、どのように活用してきたのかを書きます。

▼アピールポイントを今後どのように活かしたいか

在学中と将来において、どのように活かしたいかを書きます。

▼まとめ

私は以下の2点から、自分を貴校へ推薦します。

1つは、コミュニケーション力があること、もう1つは美容に強い興味を持って取り組んでいることです。

まず、1つ目のコミュニケーション力は、両親が飲食店を経営しており、幼い頃から店でいろいろな方と関わってきたことから身に付きました。部活動の水泳部の大会では、他校との打ち合わせをスムーズに進めたり、大会の司会を滞りなく務めたりしてその力を活かしてきました。2つ目の美容への興味については、信頼できる美容師の方との出会いがきっかけとなり、雑誌やインターネットで調べたことを自ら試すなどしてきました。そして、周りの友人から髪について相談された時には、具体的なヘアケアの方法や似合うヘアスタイルを提案して喜ばれました。

私は今後、このコミュニケーション力と美容への興味を活かし、入学後は美容師を目指して友人や先生方と積極的にコミュニケーションをとり、美容の知識を深めていくつもりです。また、貴校ではメイクやネイルなど美容に関して幅広く学べるので、多くの知識を吸収したいと思っています。

そして、将来はお客様と丁寧にコミュニケーションをとって、要望に合った適切なヘアスタイルを提案していきたいと思います。また、ヘアケアや美容全般についてもアドバイスできる美容師を目指して頑張ります。

以上の2点において、私は自分を貴校に推薦します。

文末は常体（～だ、～である）、敬体（～です、～ます）のどちらでも構いません。混在しないようにどちらかに統一します。

「資質・性格」面

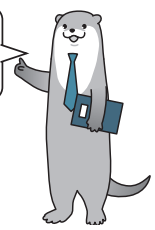
「興味・関心」面

この部分が具体的な「裏付け」となります。ここの長さを調整することで、制限字数内に収めるようにしましょう。字数が余るようであれば膨らませて書き、字数が不足するようであればより簡潔にまとめます。

志望校入学後にアピールポイントを活かしたいことについて、学業とそれ以外の両面から書きます。

将来どのように活躍したいかを書きます。

まとめは簡潔に。定型句で構いません。



自己推薦書 学部別答案例 (600字程度)

●体育系

私は以下の2点から、自分を貴学へ推薦する。

1つは順応性の高さ、そしてもう1つは、スポーツに強い関心を持ち続けてきたことだ。

まず1つ目については、中学校で陸上部、高校でバスケットボールと全く異なる部活動に所属したが、さほど時間をかけずになじむことができた。特に高校では、それまであまり経験のなかったチームスポーツだったが、周りのメンバーの動きをよく見て、どこに走り、ボールを回せばよいのかを素早く考え、チームの一員として認められた。

そして2つ目については、幼少期から父にテニスを教わったり、兄と一緒に水泳教室に通ったりと、いろいろなスポーツに親しんできたことが土台になっている。どのスポーツにも違った面白さがあり、身に付く力も異なったが、何より体を動かす爽快感や、仲間と一緒に頑張っ、目標としていたことを達成できた時の喜びは大きかった。

私は今後、今まで身に付けてきた順応性とスポーツの経験を活かして、貴学でスポーツが人の体や精神に及ぼす影響を学び、知識を身に付けたい。また、その知識を役立てられるイベントなどにも積極的に参加していきたい。さらに、将来は身に付けた知識や技術をもとに、子どもから高齢者までスポーツの楽しさや大切さを普及する仕事に携わりたい。

以上の2点において、私は自分を貴学に推薦する。

●福祉系

私は以下の2点から、自分を貴学へ推薦します。

1つは、他人のために誠心誠意尽くすことができること、そしてもう1つは、家族の介護を体験したことによって、現実の問題をよく知っていることです。

1つ目の点は、中学時代にJRC部に所属し、様々なボランティア活動に参加することによって養われました。私のその資質は高校でも発揮され、クラス合宿やスポーツ祭の時は、自ら進んで清掃係を引き受け、イベントのスムーズな運営に貢献してきました。

2つ目の点は、祖母の介護を母と2人で行ってきたことで身に付きました。一昨年に亡くなった祖母は、脳梗塞で倒れてから約7年間寝たきりの生活でした。私は母を手伝い、食事や排泄の世話など、きれいごとでは済まされない介護の現実を体験しました。そして、安らかにこの世を去った祖母の顔を見た時に、自然と福祉の方面に進もうと決心していました。

私のこの資質と経験は、今後の学習や仕事を進めるうえで、十分活かせると思います。私の将来の夢は、ケアマネージャーとなり、お年寄りに幸せな老後を過ごしてもらうことです。入学後は、自分の経験を踏まえて福祉問題についての研究をし、また引き続きボランティア活動にも参加して、自分の資質を活かして人の役に立ちたいと思っています。

以上の2点において、私は自分を貴学に推薦します。

志望校の情報は こう集める！

志望校入学後に「自分の想像していた教育内容と違う」などと思わないためにも、志望する学校について事前にしっかり理解しておくことは、とても大切なことです。

《集めておきたい情報》

1. アドミッション・ポリシー（学校が求める人物像）
2. 学校の設備、学習環境
3. 指導教授、カリキュラム
4. 卒業後の就職の実績



方法1 募集要項、パンフレットを入手する

各学校の募集要項、パンフレットからは、**学部・学科・専攻の教育内容や教育制度・カリキュラム、卒業後の就職・進学状況、指導教授、学生生活の様子、選抜制度**など細かい情報を得ることができます。志望校の募集要項・パンフレットは必ず手に入れ、熟読しておきます。特に、自分の志望する学部・学科に関する箇所はよく理解しておきましょう。

方法2 オープンキャンパスや学校説明会

オープンキャンパスや学校説明会などに参加することも情報収集には大変有効です。**学校の雰囲気**を肌で感じ取り、担当スタッフがいれば、志望校に関する疑問点を質問することもできます。学園祭などでは、学業以外の場面の**学生の様子**を観察できますので足を運んでみましょう。これらの行動は、提出書類を書く際の材料になることはもちろんのこと、志望校に**意欲を伝える**ことにも役立ちますので積極的に参加しましょう。実際に行くことが難しい場合でも、オンラインでのオープンキャンパスを開催する学校もありますので、志望校が行っているかを調べてみましょう。

方法3 インターネットを活用する

まずは、志望校のホームページを熟読しましょう。各学校のホームページには、**理念や教育方針、学校の特長**など様々な情報が掲載されています。その学校がアピールしている特長についてはしっかり把握しましょう。**学費や試験情報、キャンパスの場所**なども調べておくといでしょう。

ほかに、検索エンジンを利用する方法もあります。検索ボックスに、志望校の名前に続けて「掲示板」「評判」「口コミ」「就職実績」などの単語を加えて検索してみましょう。その学校を客観的に見ることができます。ただし、インターネットの情報には、間違ったものや不正確なものも含まれています。必ず複数のサイトを見て、それらを参考意見として捉えるようにしましょう。

方法4 先輩の受験報告書を参考にする

進路室などに置いてある先輩方の受験報告書からは、パンフレットやホームページからは知り得ない、**試験の方法や面接の様子、実際の試験問題**などの情報を得ることができます。志望校に進学した先輩がいれば、**入学後の状況**も含めて、直接話を聞いてみるとよいでしょう。

1 将来どのような仕事に就いて何をしたいのか → 「小論文まとめワーク」p.5

- ① どのような職業があるか思いつく限り挙げてみましょう。そして、その中から「やりたくない」と思う職業を削除してください。最後に残った職業は何ですか。
- ② 次の働く目的から、あなたの考えに近いものに☒をつけてください。

☐ 社会や人の役に立ちたい。	☐ 人間関係を広げたい。
☐ 経済的に自立をしたい。	☐ 豊かな暮らしがしたい。
☐ 専門的な能力・技術を高めたい。	☐ 人間的に成長したい。
- ③ 例えば、10年後のあなたの「理想の1日」の生活をイメージしてみてください。朝起きてから夜寝るまで、なるべく詳しく説明してください。
- ④ 例えば、あなたが70歳になった時をイメージしてみてください。あなたのやってきた仕事はどのように評価され、どのようなことに対して感謝されてきたでしょうか。
- ⑤ 今までに、食事を忘れるほど熱中したこと、寝る間も惜しんで熱中したことは何ですか。

2 なぜその仕事をしたいと思ったのか → 「小論文まとめワーク」p.6

- ① あなたの家族や身の回りの人を思い浮かべ、その人との関係で一番印象に残っていることや、その人から言われた印象に残っている言葉を挙げてください。
- ② あなたが尊敬する人を思い浮かべ、その人について一番印象に残っていることを挙げてください。
- ③ あなたの今までの失敗の中で、学んだことが多く、自分の内面を大きく変えたような失敗は何ですか。
- ④ 自分が希望する職業に関係すると思われるあなたの周りの人や、物、環境は何だと思いますか。

3 なぜその学校を選んだのか → 「小論文まとめワーク」p.7

志望理由を「建前」から「本音（例：偏差値的にほかの学校が難しい、学費が安い、家から近い、何となくイメージがよい）」まで、できるだけ多く書き出してください。そして、「この理由は試験官にマイナスイメージを与えるだろう」と思われる志望理由を削除してください。

4 その学校で何を学びたいか → 「小論文まとめワーク」p.8

- ① 募集要項やホームページなどから、志望校がアピールしている特長をすべて書き出してください。
- ② 事前に集めた、志望校の関係者やあなたの希望する職業に就いている先輩の「生の声」を整理し、「学校の勉強以外」で学生時代にやっておくべきことを考えてみましょう。

1 自分のアピールポイント → 「小論文まとめワーク」p.12~p.13

- ① 自分の性格に少しでも当てはまると思うものに☑をつけてください

☐ 明るい	☐ 真面目	☐ 協調性がある
☐ 我慢強い	☐ 思いやりがある	☐ 発想力がある
☐ 積極的	☐ 責任感がある	☐ 行動力がある
- ② 自分の性格を1つの単語でなるべく多く書き出してください。そして、そこから発生したと考えられる行動傾向を考えましょう。(例：冷静→人の話を客観的に聞ける)
- ③ 自分の「短所」を書き出し、それを裏返して「長所」として表現してみましょう。(例：頑固→信念がある／落ち着きがない→活発) ※「小論文まとめワーク」p.13の「短所⇔長所」を参照
- ④ 今までに、食事を忘れるほど熱中したこと、寝る間も惜しんで熱中したことは何ですか。
- ⑤ 今までに、自分ではたいしたことがないと思っていたのに、周りから「すごい」と感心されたことは何ですか。
- ⑥ 何か資格を持っていますか。その資格を得るために苦労したことは何ですか。

2 アピールポイントをどのように活かしたか → 「小論文まとめワーク」p.14

- ① 小学校高学年から現在までの年表を具体的に書いてみましょう。
- ② 周りからほめられてうれしかった瞬間、自分の持っている能力や性格でよかったと思った瞬間を思い出して書きましょう。
- ③ 「小論文まとめワーク」p.14の「キーワード」を参考にしながら、印象に残っている出来事を「いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように」を意識して書きましょう。

3 アピールポイントを今後どのように活かしたいか → 「小論文まとめワーク」p.15

- ① 今後直面するかもしれない困難を書き出しましょう。そして、それらの困難をどのように克服していくかを考えましょう。
- ② 進学や就職をするにあたり、不安に感じていることを書き出しましょう。そして、それらの不安をどのように解消していくかを考えましょう。
- ③ 今までにアピールポイントが役に立った例を、これから起こりそうなことに当てはめて書きましょう。



「志望理由書」と「自己推薦書」に共通する例

✕ 志望校のパンフレットやホームページに書いてあることを、丸写ししている。

➡ ○ 自分の言葉で書く。

志望校のパンフレットやホームページに書いてある文章の丸写しや、つなぎ合わせたような表現は、試験官にはすぐにわかります。引用程度にとどめ、自分の言葉で表現しましょう。

✕ 自分について事実ではないことを書いている。

➡ ○ 実際の自分の考えや経験にもとづいたことを書く。

例えば、興味がないのに「英語に興味がある」など、こう書いたほうがよい印象を与えるだろうと思って事実ではないことを書いても、中身が伴っていなければ、面接で見抜かれてしまいます。実際に自分自身で考えたこと、体験したことを書きましょう。

✕ 志望校について間違った情報を書いている。

➡ ○ 確実なことを書く。

志望先の教育内容、特に入学してからやりたいことは、「それはこの学校ではできない」と試験官から言われないように、情報をしっかり集めて、正確に把握しておくことが大切です。

✕ エピソードをいくつも挙げている。

➡ ○ 1つか2つに絞る。

根拠としてエピソードを挙げる時、多くの体験が思い浮かぶかもしれませんが、1つか2つくらいに絞り、より具体的に説明しましょう。エピソードが多く挙がっていると、1つひとつの印象が薄くなってしまいます。

✕ 「進学後は遊びたい」「アルバイトに力を入れる」など、学業を無視するような表現。

➡ ○ 学業を第一に考える。

学生にとって、第一の目的は学業です。しかし、アルバイトやボランティア活動、サークル活動など、学生にとって大切な経験は学業以外にも存在します。それらについて述べたい時は、あくまでも学業をメインとし、勉学に支障が出ない範囲にとどめる内容にしましょう。

✕ 取り上げるエピソードに対して消極的な見方をしている。

➡ ○ 失敗や挫折の体験をプラスに捉える。

例えば、仲間はずれにされた経験があったとして、そのエピソードについて「悲しかった」で終わらせないようにします。そこから「人の気持ちがわかるようになった」など、克服して自分がどのように成長したかを伝え、とても説得力があるものになります。

✕ 「勉強についていけるか心配」など、不安を述べている。

➡ ○ 前向きな姿勢で、期待していることを書く。

誰にでも将来への不安はあるものです。しかし、不安な気持ちをそのまま書いてしまっては、「入学したい」というあなたの意欲を試験官に伝えることはできません。将来の自分の姿を前向きに捉えて、期待していることや、頑張ろうという意欲について書きましょう。

✕ 志望理由の中心が、「就職に有利だから」など現実的なものになっている。

➡ ○ 学びたいこと、挑戦したいことを中心におく。

「資格が取れるから」「就職の実績が高いから」など、あまりに現実的な内容を志望理由の中心においては、試験官にいい印象は与えません。志望理由の中心は、志望校で学びたいこと、在学中に挑戦したいこととし、そのほかの理由は添える程度にしておきましょう。また、学校で学びたいことが将来の職業にどうつながって、そして職業に就いてから何をしたいか、さらに、職業を通して得られるやりがいまで述べることで説得力が増します。

✕ 「業界に大革命を起こしたい」など、漠然とした夢。

➡ ○ 実現可能で具体的なものに。

夢を持つことは大事なことです。が、「世界平和を実現したい」など、あまりに漠然とした、現実感のない話を展開することは避けたほうがよいです。自分自身で実現させるための具体的な方法を述べないことには、説得力のある文章にはなりません。夢に向かって今努力していることや、今から取り組んでいきたいことを具体的に書けるようなものを取り上げましょう。

✕ 「家から通えるので」など、学業と関係のない理由や、受動的・消極的な理由。

➡ ○ 意欲、熱意の伝わる前向きな理由を挙げる。

「志望理由書」は、入学したいという意欲、熱意を表現しなければなりません。「理数系が苦手なので文系を」「親に勧められたので」などのように、消極的、受動的であったり、学業と関係のない理由はマイナスの印象を試験官に与えてしまいます。カリキュラムや教育方針、設備、学風などから、魅力を感じた点を前向きな視点で述べましょう。

✕ 「アピールポイントといってもたいしたことはないが」など、消極的で自信のない表現。

➡ ○ 堂々とアピールする。

「できるかどうか自信がないが」など、謙虚になりすぎて、自信のないような書き方は、消極的で曖昧な印象を与えてしまいます。実力以上のことを書いて、立派に見せようと背伸びをするのもよくありませんが、自分ではたいしたことがないと思えることでも、自信を持って述べる姿勢が必要です。

✕ 「自分の性格によい面はまったくない」など、否定的な表現。

➡ ○ 視点を変え、プラスに捉える。

「自分を推薦できる部分はない」「高校時代は特に何もしなかった」など否定的な内容では、その学校で学びたいという意欲が伝わらないばかりか、試験官にマイナスの印象を与えてしまいます。「自己推薦書」は、自分をアピールするものです。「何もない」という否定的な見方をやめて、違う視点から眺めてプラス面を見つけていくことが大切です。

✕ 「長所」を裏付ける「根拠」が述べられていない。

➡ ○ なぜそう思うのかという「根拠」となる具体的事実を挙げる。

単に長所を挙げただけでは、試験官を納得させることはできません。どんなに小さなことでも、根拠となる具体的なエピソードを示すことで、説得力を持たせることができます。具体的な体験を書くことは、試験官への印象を強めます。